

湯河原ロータリークラブ



WEEKLY REPORT

世界へのプレゼント
になろう

第 2609回 例会
平成27年11月20日(金)
天候 曇り
合唱 我らの生業
四つのテスト

会長 佐藤 泰文

幹事 山本 明峰

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会内
TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716

例会場 静岡県熱海市泉 107 ニューウェルシティ湯河原

TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

卓話にて自分自身のロータリー感を話していただく企画を設け、本月初回です。お互いのロータリーに対しての気心がよくわかるかと思い、ロータリーの活性化、会員増強に結び付けていただければと考えています。

ソウル国際大会についてです。当クラブでは6名の参加で申し込みましたが、希望される方は是非ご参加いただければ尚有難いです。

5月28日出発3泊4日で開会式に出席するプランで行きたいです。登録も迫ってきました。登録の締切が遅くなると高くなるので、もう決めなくてはなりません。登録料は310ドルといい値です。クラブより助成いただけるよう理事会にて審議させていただきます。旅行社はロータリークラブ取り扱いの近畿日本ツーリストで行きます。よろしく。

2000年10月、京都国際会館で開かれた世界保健機構(WHO)のポリオ根絶認定会議で、西太平洋地域の各国の地域認定委員長から詳細な報告があり、この地域から野生ウイルス「ゼロ」の認定が下されました。この認定を踏まえ、2000年10月29日、尾身茂WHO西太平洋地域事務局長によって「西太平洋地域のポリオ根絶宣言」がなされました。その後、地域ごとに根絶の認定がされて、現在、野生ウイルスの常在国は、アフガニスタンとパキスタンの2ヶ国となりました。

(ロータリーの友、11月号より)

幹事報告

国際ロータリー日本事務局より

1. ソウル国際大会の早期登録割引の第1回目締切が迫っております。早期割引料金でのご登録をご希望の皆様におかれましては、締切日まで待たずにお早めのご登録をお願い申し上げます。

第2820地区ガバナー及び水海道ロータリークラブより

1. 鬼怒川水害見舞のお礼状が届きました。

連絡事項 無し

スマイルBOX

結婚記念日 土屋一弘君(11/17)

入会記念日 平間章弘君(20年・H7.11.24)

高杉尚男君・渡辺久恭君・石倉幸久君

さがみ信用金庫信和会の会長及び理事として竹中平蔵氏を招いて講演会が無事開催されました。多数の参加ありがとうございました。

望月博文君

今日、相豆新聞にて来年1月10日(月)、湯河原町商工会親睦旅行の掲載をさせていただきました。

佐藤泰文君 バッチを持って帰ってしまいました。

出席報告	ゲスト 0名	ビジター 0名	会員 23名
	欠席 5(免除者 2名)		出席率 85.71%
	前回の修正出席率 86.95%		前々回の修正出席率 95.00%

事前メイクアップ 1名

今月より、佐藤会長の発案によりまして、月一回、会員夫々が自らのロータリー観といったものを披歴するというを卓話の時間に行うことになりました。今日はその第1回ということでございます。私、本日2時からIMの実行委員会に出席せねばならないため、時間の都合上、トップバッターを務めさせていただきます。

実は今回の企画については、8月のガバナー公式訪問の際、ガバナーから助言をいただいたことが発端であります。

当クラブは年初策定のプログラムに「クラブフォーラム」を入れ込んでおりません。他クラブでは、それを盛んに行っていますよ、という指摘がありました。確かに「クラブ協議会」、つまり手続要覧や活動計画書に基づいて、執行部及び各委員会の事業計画やその後の進捗状況等について議案を設け、決議を出す形での会議を、今年度は8回予定しております。しかしながら、公式訪問での指摘は、これは半分程度でよろしいのではないかと。むしろ「クラブフォーラム」、つまり議案を設けず、任意のテーマを設定し、結論を出すことにこだわらず、フリーディスカッションというかたちを重んじる。飲み会での話のように、個々人の思いの丈がぶちまかれたまま、とどのつまり放恣に流れてしまう。そうならないように、例会という公式な場で、自由に活発な議論を展開させる工夫をする。そのことによりクラブの雰囲気随分と風通しの良いものになり、クラブそのものが活性化される、そのようなお話だったように記憶しております。

さて、私自身の「ロータリー観」は、いまだもって、「敷居が高いなあ」という感じです。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

ロータリークラブに入会して

佐東丈介君

私が湯河原クラブに入会した時は41歳の時で、杉山さん、小松さんのご紹介の御蔭でした。

当時、開業して10年ほどの時で土地の人間でない私は、友達が近隣には少なく、何かしたいなと感じていたところでした。当時のクラブは、40人以上の会員数で、活気に満ちていました。

若かった私としては、面識のない方が多く、非常に緊張しながら毎日出席しておりました。もちろん皆様100%出席ということですので、休んだ時には必ずメーキャップに出かけました。

2780地区の中には、同じ接骨院を生業としている会員は数名しかいません。

入会して良かったと感じたことは、皆様も同じ意見でしょうが、多くの人と知り合え、毎週顔を合わすようになり、気心が知れ、知人の域を越し、友人となったことです。やはり出席は基本です。

また当初の例会場だった「天野屋」さんの四季折々のおいしい食事をいただけたことです。

中でも春の桜を思わせた「花見弁当」や秋の松茸料理は記憶に強く残っています。

当時は横浜銀行を始め、各金融機関なども入会されていて、二人の子供たちの大学授業料の御世話になりました。このあたりも新会員を増やすためには大きな要因でしょう。

「会長」「幹事」職をするようになると他クラブの人とも顔見知りになり、これも楽しい事でした。

次にいやなことというか、困ったことは、夜間例会やガバナー公式訪問など、仕事に出なければならぬ行事の時には、診療を休まなければならぬと、当初は患者さんたちにどのように説明しようか困りました。

会費も安くはなく、仕事を削らなくてはならない時もあります。

しかしせっかく入会したロータリークラブです。自分たちでその価値を下げるようなことはしたくないと思っています。

佐藤 泰文君

この卓話にて、ロータリークラブに入会してこんな思いがありました、こう思いますというようなお話しをしていただき、Cの活性の礎が出来ればと考えます。

入会して20年が過ぎてしまいました。入会時はバブルは弾けたものの、まだ余韻があり、銀行の預金利息も7.5%の時代で、会員数も当クラブ最高の43名でありました。

入会時、狭い町です会員の殆ど知った方ばかりで、福泉寺の檀家が3分の1いましたが、立場の違う皆さんです、親しくお話し出来る方はあまりいませんでしたが、上下なく地域での大切な生活環境の在り方などのお話、また助言いただけ、ロータリーの素晴らしさ痛感しました。

また、メーキャップで広い旁々と交流出来、小田原北Cの生沼さんから、精神疾病の人の問題で、医療や行政面などで大変お世話になりました。小田原Cの簗島さんには、横浜の帰り何度か東海道線のG車でお会いし、篤とロータリーについて助言、いや講義を受けましたことは、自分にとって大きな財産を得たと有難い思いです。入会当時、当クラブは出席率100%を誇るCで、金曜日の昼はと常に頭にあり、欠席の多い私にはメーキャップ探しで大変でしたが、楽しい面もありました。何時しか出席率100%が崩れ、私も気が緩み今に到ってしまいました。一度崩れたものを挽回するのは大変です。皆さんも同じですが、一人男で毎週同じ日に束縛されるのは辛いことですが、ロータリアンの使命が守れなくなってしまったことに、大変申し訳なく思っています。

ロータリアンである限り、その使命を遵守し、皆さんにプレゼントを心掛け、今後ともよろしくお願いいたします。